



5.1.1 現在

世帯数 62,753 (41減) 男 61,376 (11減)

人口 124,756 (44減) 女 63,380 (33減)

※ 世帯数および人口は、住民基本台帳によるものであり、外国人住民の方を含みます。()内は前月比



ホームページ <https://www.city.koganei.lg.jp/>

モバイル(携帯電話)版 <http://www.city.koganei.lg.jp/m/index.html>

イベント等の最新情報については、事前に各担当部署や主催者にお問い合わせいただくか、市ホームページをご確認ください。

市・都民税(住民税)、所得税及び復興特別所得税(所得税) 間もなく申告の時期です

申告期間は2月16日(木)～3月15日(水)(窓口での申告は土曜・日曜・祝日を除く)

市・都民税の申告は市役所へ

申告していただくのは、令和4年中の所得です。所得が給与のみの方で勤務先から「給与支払報告書」が小金井市に提出される方、所得が公的年金のみの方で支払先から「公的年金等支払報告書」が小金井市に提出される方、市内に住んでいる方の扶養親族の方、税務署に確定申告をする(した)方以外は、市・都民税の申告が必要です。申告期間中の日曜日午前9時～午後1時に臨時窓口を開庁して申告の受け付けを行います

■申告書の入手方法 2月上旬に前年の状況に応じて郵送します。用紙が届かなかった方や、新たに必要になった方は、市民税課で入手できるほか、市ホームページからダウンロードできます

■申告に必要なもの 令和4年中の所得や控除に関する書類(源泉徴収票、生命保険や国民年金保険料の支払額証明書等)。詳細は市ホームページをご覧ください

所得税の確定申告は武蔵野税務署へ

■申告会場の開設 2月1日(水)～3月15日(水)の午前8時30分～午後4時(提出は5時まで) ※土曜・日曜・祝日を除く
▷2月19日(日)、26日(日)は開場します
▷税務署の駐車場は使用できません
▷混雑回避のために入場整理券を配付します。混

雑状況により、受け付けを早めに締め切る場合があります

▷入場整理券は、当日会場で配付するほか、国税庁公式LINEによる事前発行で入手できます
▷作成済みの確定申告書は、申告期間内に限り、市役所でもお預かりします※相談や過年分のお預かりはできません

■申告書等の入手方法 国税庁ホームページ(<https://www.nta.go.jp>)でダウンロードできます
▷1月23日(月)から、市役所市民税課でも配布します(小金井市割り当て分は数に限りがあるため、早めに終了する場合があります。配布終了後は税務署でお受け取りください)

■電子申告(e-Tax)での確定申告 国税庁ホームページの確定申告書等作成コーナーを利用すれば、自宅のスマートフォンやパソコンから手続きができます

税理士による無料申告相談

時 2月2日(木)、3日(金)、6日(月)午前9時30分～11時、午後1時～3時

所 小金井 宮地楽器ホール

対 小規模納税者、年金受給者、給与所得者

※▷不動産・株式の譲渡所得がある方は除きます▷相続税の相談は行っていません

印 事前申込サイト (<https://coubic.com/musa>)



事前申込
サイトはこちら

shinozei/booking_pages#pageContent) または事前申込専用電話(☎03-6634-5316=土曜・日曜・祝日を除く午前9時～午後5時)で

にせ税理士にご注意を

税理士資格の無い者が税務相談、税務書類の作成等を行うことは法律で禁じられています。なお、税理士は、税理士バッヂを着用しています。

公的年金を受給している方へ

公的年金等の収入金額の合計額が400万円以下で、かつ、公的年金等に係る雑所得以外の所得金額が20万円以下である方は、所得税の確定申告をする必要がありません。ただし、源泉徴収の対象とならない公的年金等の支給を受けている方は除かれます。なお、この場合でも、所得税の還付を受けるためには確定申告が必要です。

所得税の確定申告が不要の方でも、医療費控除、各種保険料控除などを追加することで、市・都民税が減額となる場合があります。この場合、市・都民税の申告が必要となります。

問▷市・都民税=市民税課市民税係(市役所第二庁舎3階☎042-387-9819)
▷所得税=武蔵野税務署(武蔵野市吉祥寺本町3-27-1 ☎0422-53-1311)

はたちの献血キャンペーン

厚生労働省、都道府県、日本赤十字社では、1月・2月にはたちの献血キャンペーンを全国各地で実施しています。

開催時間・場所等詳細は、東京都赤十字血液センターホームページ(<https://www.bs.jrc.or.jp/ktks/tokyo/>)をご覧ください。

問 健康課健康係(☎042-321-1240)



東京都赤十字
血液センター
ホームページ

献血について

全血献血

血液中のすべての成分を採血する方法です。

成分献血

血小板や血しょうといった特定の成分だけを採血します。体内で回復に時間のかかる赤血球を体内に戻すため、比較的体への負担が軽い特長があります。

		全血献血		成分献血
1回の献血量		200ml	400ml	600ml以下
採血時間※		10～15分程度		40～90分程度
年齢	男	16歳～69歳		18歳～69歳
	女	17歳～69歳 18歳～69歳		
体重	男	45kg以上		45kg以上
	女	40kg以上		40kg以上

※そのほか、受付・問診・血液検査・休憩に30分程度かかります

※65歳以上の献血については、60～64歳の間に献血経験がある方に限ります

献血された血液は どんな患者さんに使われているの?

けがなど不慮の事故で使われるイメージがあるかもしれませんが、多くはがんなどの病気治療に使われています。

献血って痛いのか?

針を刺すときや抜くときに痛みは感じますが、献血中はほとんど痛みを感じない場合が多いです。なるべく不安や痛みを抑えられるよう、各会場で工夫をしています。